

「本市におけるレベル1津波要対策箇所の整備」に関する意見募集一覧

総務部危機管理室

区分	NO	意見の概要	本市の考え方・回答
レベル1津波対策に関すること	1	津波対策説明会に参加して、北浦地区、南浦・島野浦地区、延岡新港・土々呂地区の整備を今後進めていくことは理解できるが、それ以外の海岸線にある地区（例えば方財地区、長浜地区、延岡港等）のレベル1津波の影響（被害）が説明されなかったのが不安を感じる。	<p>県では、レベル1津波により浸水被害が想定される「北浦漁港海岸」「古江港海岸（古江地区、阿蘇地区）」「島野浦漁港海岸」「熊野江港海岸」「南浦漁港海岸（須美江地区、浦城地区、浦尻地区）」「延岡新港海岸」「土々呂漁港海岸」について、防潮堤や防波堤などを整備する計画を今回策定しております。</p> <p>上記以外の海岸におけるレベル1津波対策について宮崎県に確認したところ、既存の護岸や地盤の高さが、想定されるレベル1津波高さよりも高いことから、浸水被害が発生しない想定となっておりますので、県では新たに防潮堤や防波堤は整備せず、既存施設の健全性を維持するため、計画的な施設点検・維持補修を進めるとのことです。</p> <p>市としましては、そのような計画であったとしても、なお必要な施設整備等があれば、県に対して要望するなど、必要な対応を検討していきたいと考えております。</p>
	2	今回の整備計画のスケジュールと整備にかかる予算を明確にして欲しい。	<p>宮崎県に確認したところ、津波対策施設整備計画作成のために、現在、防潮堤や防潮堤などの位置や高さなどの検討を進めており、地域住民や利用者との合意形成のための地元説明会を行っております。このうち、大きな浸水被害が想定されるなど整備優先度の高い古江地区、土々呂地区において、まず整備を進めていくとのことでありました。</p> <p>今後、事業化を進める過程でスケジュールや整備にかかる予算は公表して行くとのことでした。</p> <p>市としましては、整備優先度の高い地区以外の地区についても、必要な施設の整備促進を要請していくとともに、今後も県と連携し、必要に応じて市民の皆様への説明を行っていききたいと考えています。</p>
	3	レベル1やレベル2の津波対策の対策が遅く、危機管理意識が低いと感じたが、説明会に参加して、防潮堤及び防波堤の津波対策は大変すばらしいと思った。	<p>今後も、市民の皆様に対して、説明会や意見募集等を行い、整備内容等について理解を深めていただくよう努めてまいります。</p>

	4	<p>レベル1津波のシミュレーションで、延岡市の海岸線及び河川周辺の地区別浸水想定と地区別被害予想（人的、建物）の対策前後の比較がわかると、今回の計画が適正かどうか判断できると思う。</p>	<p>延岡市の海岸線及び河川周辺について、宮崎県がレベル1津波のシミュレーションを行い、古江港海岸や土々呂漁港海岸など8海岸において、浸水による人的被害及び家屋被害が想定されるため、この度、レベル1津波要対策箇所に位置づけ整備を行うこととしているところです。</p> <p>その他の海岸については、既存の護岸や地盤の高さが、想定されるレベル1津波高さよりも高いことから、浸水被害が発生しない想定となっているとの事であり、今後、既存施設の健全性を維持するため、計画的な施設点検・維持補修を進めるとのことです。</p> <p>市としましては、今後も計画が適正かどうか、また、被害が想定されない地域でも、必要な施設整備があるのではないかなどについて県と連携して把握するとともに、市民の皆様に対しても、必要に応じて説明していきたいと考えています。</p>
その他の意見に関すること	1	<p>海岸線以外でも沖田川や浜川へのレベル1津波の逆上の影響（被害）も明確にしてほしい。</p>	<p>宮崎県では、平成27年8月に浜川も含め「沖田川水系河川整備計画」を策定し、高潮・地震・津波など、レベル1津波対策について、津波遡上区間を施工対象範囲とし、樋門の自動閉鎖化や堤防の嵩上げ、液状化対策などのうち、効果の高いものについて実施していくこととしています。</p> <p>実施については、宮崎県に確認したところ、県内のレベル1津波対策の必要な中小河川の整備費用と整備期間が相当程度となるため、予算の確保に努めるとともに、整備手法について関係機関と協議を進めているところとのことです。</p> <p>（参考）沖田川水系（沖田川、石田川、井替川、浜川）</p> <p>津波遡上区域（影響区間）</p> <p>沖田川（河口から口広橋下流300m付近）：0k～5k200）</p> <p>石田川（河口から新石田橋下流100m付近）：0k～0k300）</p> <p>井替川（河口から伊形ポンプ場上流300m付近）：0k～1k500）</p> <p>浜川（河口から国道10号交差点付近）：0k～2k400）</p> <p>市としましては、必要な対策を早期に実施するよう、今後要請をしていきたいと考えております。</p>

	2	<p>地震防災対策の観点で、国、県、延岡市の連携・役割やそれぞれの組織の中長期的取り組みが知りたい。</p>	<p>港湾海岸、漁港海岸の防潮堤、防波堤などの整備は、管理者である県が実施しております。</p> <p>河川については、それぞれ国、県、市に管理区域が分かれており、必要な施設整備は、それぞれの管理主体が行うこととなります。</p> <p>また、市町村は地域防災計画に基づき、防災・減災に関する取り組みを行うこととなります。</p> <p>東日本大震災での甚大な被害を踏まえ、国、県、延岡市では、南海トラフ巨大地震などの最大クラスの地震津波や西日本豪雨のように最大クラスの洪水など、いわゆる千年に1回程度発生する最大クラスの風水害については、ハード整備での防護が困難なことから、避難を軸にしたハード・ソフト対策について、それぞれの役割分担を踏まえて取り組んでいるところです。</p> <p>今回のように、最大クラスに比べて発生頻度が高く、被害が発生する「レベル1津波」や「レベル1洪水」などの対策については、防波堤や防潮堤、河川堤防など各施設管理者がハード整備に取り組むこととしております。</p> <p>今後とも国・県・市で連携し防災・減災対策に取り組んでまいります。市民の皆様それぞれにそれぞれの役割・取り組みなどを理解していただくよう努めてまいります。</p>
--	---	--	--